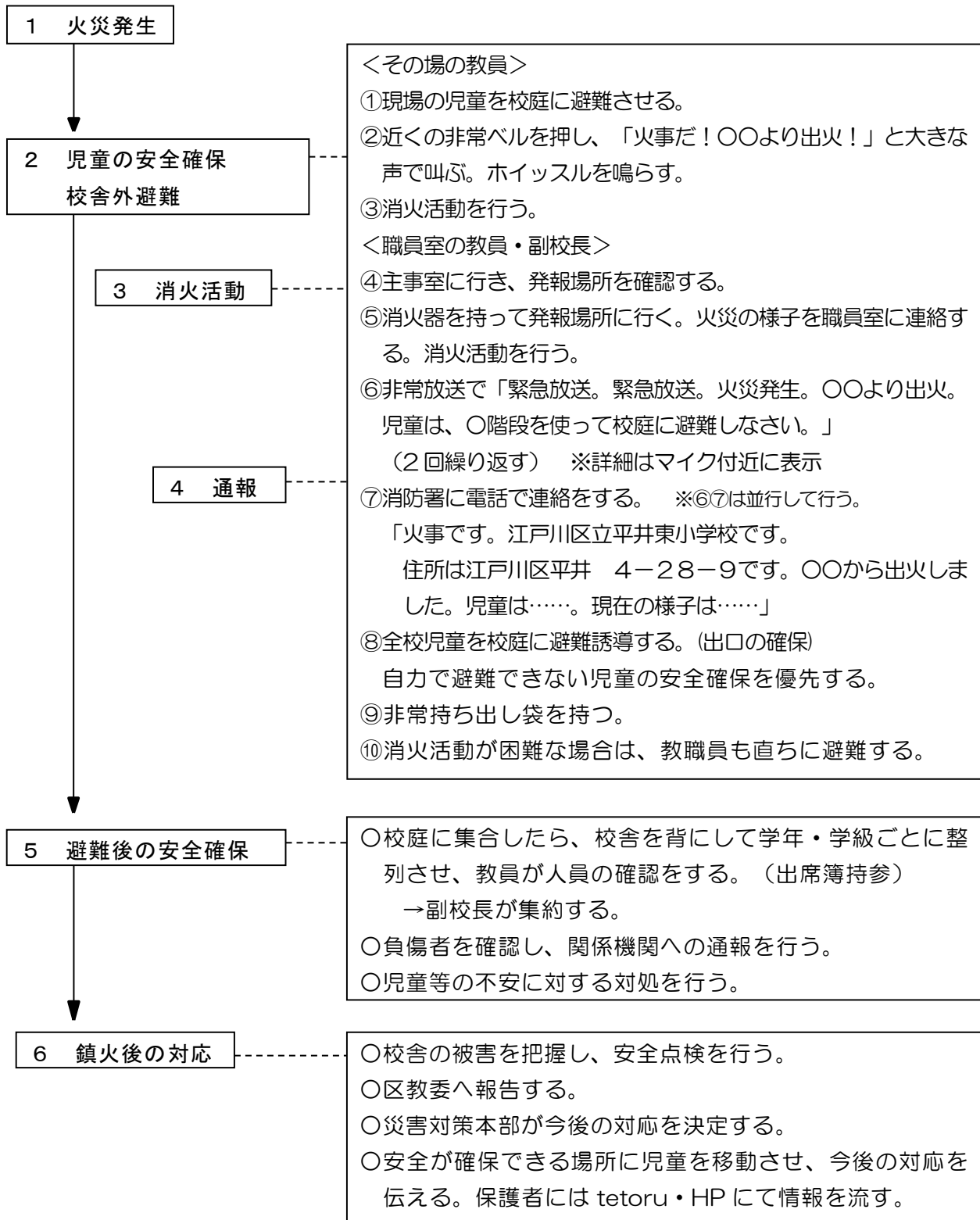


火災発生時の基本的対応要領



*火災でなかった場合

非常ベルが間違っって押された場合には、主事室の警報盤横のマニュアルにより復旧作業を行う。

◎ 留意事項

0. 平常時

- (1) 毎朝確実に出席をとり、学級児童の出欠席を把握する。(専科授業時には伝達する。)
- (2) 養護教諭が、職員室前廊下の「児童出欠表」に出欠状況や、遅刻・早退の状況を記入しておく。

■授業中(教員が指導している時)… 教員は児童に適切な指示を与え、避難させる。

1. 避難前

- (1) 黙って緊急放送を聞く。出火場所を聞き取り、避難経路を判断する。
- (2) 「窓をしめ、カーテンを開ける。扉をしめ、電気を消す。」ことを指示する。
- (3) 児童を廊下に出し、2列に並ばせる。

2. 避難中

- (1) ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お(おさない)、か(かけない)、し(しゃべらない)、も(もどらない)」を守らせて移動させる。
- (2) 階段を降りるときは、上の階のクラスが内側、下の階のクラスが外側を歩く。(できるだけ待たない)

3. 人員確認

- (1) 校舎を背にして(火を見せない)、学級ごとに並ばせる。
* 少人数指導の場合も、学級ごとに並び直す。
- (2) 担任は、児童の肩を叩いて点呼を行い、その場にしゃがませる。
- (3) 担任は、副校長に報告する。
「〇年〇組、在籍〇名、欠席〇名、現員〇名、異常なし・あり(〇〇が不明)」
* 「欠席」とは、その時点での不在児童のこと。(欠席・早退・遅刻等を含む)
<避難完了>

■休み時間等(教員が指導していない時)… 児童は自主的に判断して、避難を行う。

1. 避難前

- (1) 黙って緊急放送を聞く。出火場所を聞き取り、避難経路を判断する。
- (2) 近くの窓をしめ、カーテンを開ける。扉をしめ、電気を消す。

2. 避難中

- (1) ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お(おさない)、か(かけない)、し(しゃべらない)、も(もどらない)」を守って、安全な避難経路を通して移動する。

3. 人員確認

- (1) 校舎を背にして、学級ごとに並び。
- (2) 看護当番の指示に従って、待機する。(学級ごとに並び直す。)